

はなみずきの まちだより

2014年2月

第61号

編集・発行 千種区社会福祉協議会

名古屋市千種区西崎町二丁目4番地の1

TEL 052-763-1531 FAX 052-763-1547

ホームページ

<http://www.chikusa-shakyo.jp>

千種区社協

検索



★キラキラ★ サンタ事業

～つながる・ひろがる・かよいあう～



実施報告

ボランティアグループ「花水木鯉城会」のメンバーがサンタクロースに扮して、地域の子育てサロンの会場で子どもたちにプレゼントを渡すイベントを行いました。今年で6年目を迎え、千種区内14学区にて767個のプレゼントを配ることができました。

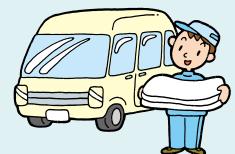
今年のプレゼントは、手の平サイズのサンタクロースのお人形などで、赤い羽根共同募金の配分金から用意しました。

プレゼントの封入作業には、ボランティア・NPO応援助成団体の「NPO法人花＊花」の皆様にご協力をいただきました。



寝具クリーニングサービス事業

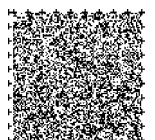
平成25年11月、区内にお住まいの65歳以上の方で、布団を干すことが困難なひとり暮らしの方などを対象に寝具クリーニングサービス事業を行いました。この事業は名古屋市民生委員児童委員連盟千種区支部のご協力をいただき、205名の方がご利用されました。朝早くに預けた布団や毛布が、その日の夕方に、清潔でふっくらした状態で戻るため、大変好評でした。



SPコード

各ページにSPコードを載せました。SPコードとは、このコードの中に文字情報を記録することができ、専用の読取機で読み取ると本紙の内容を「音声で聞く」ことができます。これにより、高齢者や目の不自由な方にもこの広報紙の情報をご提供できるようになります。（携帯電話で読み取るQRコードではありません。）

この広報紙は賛助会費を財源に作成しました。



高齢者はつつ長寿推進事業 平成26年度前期 参加者募集!

市内在住の65歳以上の方を対象に、週に1回、レクリエーションや体操などを通して健康維持や仲間づくりを行うことを目的とした介護予防の事業です。

参加期間 6か月(前期:4月～9月 後期:10月～3月)

費用 無料(材料費は実費)

定員 1会場 20名程度 *定員超過の場合は抽選

参加申込期間 2月3日(月)～2月28日(金)

問合・申込 千種区社会福祉協議会 ☎763-1531



- 午前=10:00～12:00
- 午後=1:30～3:30

*この事業は名古屋市から
千種区社会福祉協議会が
受託した事業です。

実施日程		会 場
火曜日	午前	千種区社会福祉協議会(西崎町2-4-1)
	午後	市営新汁谷荘集会所(汁谷町19)
水曜日	午前	星ヶ丘コミュニティセンター(星ヶ丘1-3)
	午後	内山コミュニティセンター(内山1-4-15)
木曜日	午前	県営清明山住宅集会所(清明山一丁目6)
	午後	乗西寺ホール(仲田二丁目6-13)
金曜日	午前	サンクレア池下 5階集会室(覚王山通8-70-1)
	午後	春岡コミュニティセンター(春岡二丁目5-44)

人権尊重のまちづくり・男女平等参画推進事業

「震災と私たちの心の備え」を開催しました!

12月7日(土)千種区役所講堂にて、午前10時30分から「震災後に待ち受ける生活」と題し、平成19年の能登半島地震で災害ボランティアセンターに従事した職員を招き、講演していただきました。

参加者から「いつふりかかるかも知れない災害に、普段からの地域でのコミュニケーションを大切にしていきたい」などの感想をいただきました。

午後1時15分から、災害ボランティアちくさネットワークの皆さんに「避難所運営ゲーム」を実施していただきました。

参加者から「楽しく学びました」、「とても参考になったので、このような機会をまた作ってほしい」など、好評をいただきました。



**協力者
募集中!!**

2月16日(日)午後1時30分から、千種区役所講堂にて災害ボランティアセンター*設置運営訓練を実施します。この訓練にご協力いただける方を募集しています。

詳しくは千種区社会福祉協議会(☎763-1531)まで、ご連絡ください。

※災害ボランティアセンター

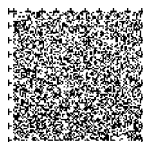
災害発生時、必要に応じて、区役所、災害ボランティア及び社会福祉協議会が協力し設置。駆け付けたボランティアと被災者を結び、さまざまな支援を行います。

善意の小箱

「千種区の福祉に役立ててください」と善意の
寄付をいただきました。 <平成25年9月21日～平成26年1月22日>

- 大橋一弘 様
- 蛭川洋子 様
- 匿名 2件

皆さまからいただいた寄付金等は千種区の地域福祉の推進に活用させていただきます。
ありがとうございました。



知っておきたい認知症の相談窓口

現在、認知症の方は、全国で462万人と推計され、軽度認知障害(MCI)の400万人を含めると、「65歳以上の4人にひとりが認知症の方とその予備軍」と言われています。また、85歳以上になると4割を超えるなどとても身近な脳の病気になっています。

では、認知症について、自分や家族が「認知症かもしれない?」、「認知症のことで困っている」と思ったときに、どこに相談したらよいのでしょうか。**事例を交えて相談窓口と対応例をご紹介します。**

認知症は、直近のことを忘れる、料理の手順が分からない、今が何月かわからないなど病気による「**認知機能の低下**」と「**性格や生活歴**」、「**環境**」などによって「**生活のしづらさ**」があらわれる病気です。

事例1 別居の娘さんからの相談。80歳の母が、最近同じことを何度も聞いたり、いつも探し物をしている。認知症なのかなぁと心配している。どこに相談したらいいのか。

⇒かかりつけ医がいれば、まずはかかりつけ医の先生に相談してみましょう。専門医療機関を受診する場合にも、かかりつけ医の「紹介状」があると受診がスムーズになります。

また、身近な認知症の相談窓口であるいきいき支援センターや認知症のことならどんなことでも匿名で電話相談ができる認知症コールセンターにご相談ください。いきいき支援センターでは、「もの忘れ相談医による専門相談」を月1回実施し、ご家族が医師に30分間、相談することができます(無料、予約制)。

事例2 同居の娘さんからの相談。75歳の認知症のある母をひとりで介護している。もの盗られ妄想があり、いつも口論になってしまう。徘徊も時々あり。介護保険サービスの利用は嫌がり、どうしたらよいか分からない。相談者のほうが体調を崩してしまいそうだ。

⇒いきいき支援センターや認知症コールセンターにご相談ください。まずはゆっくりお話をお聴きしたうえで、介護のことなどについていっしょに考え、ご支援していきます。

いきいき支援センターでは「家族向けの教室やサロン」を行い、介護されているご家族同士で情報交換できる場もあります。そのほか、はいかい高齢者おかえり支援事業や認知症の人と家族の会(愛知県支部)が実施する介護者交流会などの認知症に関する情報をお伝えしています。

事例3 民生委員さんからの相談。ひとり暮らしで、以前は地域の集まりに参加していたが、最近は外で見かけなくなった。家の片付けも難しくなっているようで、お風呂にも入っている様子がなく、食事もどうしているのか分からない。認知症かもしれない。心配だが、どうしたらよいか。

⇒いきいき支援センターにご相談ください。民生委員さんといっしょに自宅を訪問し、ご本人と信頼関係をつくりながら、困りごとの解決にむけて介護保険の申請などからご支援します。

また、必要に応じて、区役所や保健所、認知症サポート医(認知症に詳しい医師)や認知症疾患医療センター(市が指定した認知症専門医療機関)とも相談しながらご支援します。

相談窓口の連絡先

①千種区東部いきいき支援センター

電話 781-8343 FAX 781-8346

担当学区：大和・上野・東山・星ヶ丘・自由ヶ丘・富士見台・宮根・千代田橋

②千種区西部いきいき支援センター

電話 763-1530 FAX 763-1547

担当学区：千種・千石・内山・高見・春岡・田代・見付

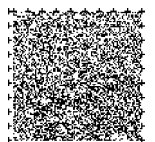
③名古屋市認知症相談支援センター

電話 763-1552 FAX 763-1547

④名古屋市認知症コールセンター

(電話相談のみ)

電話 763-1332



※窓口の開設時間は、①～③は平日の9時～17時、④は年末年始、祝日をのぞく、月・水～金曜日10時～16時、火曜日14時～20時です。(いずれも年末年始、祝日をのぞく)

デイサービスに ズーボがやってきた!!

社会福祉協議会の運営する老人デイサービスセンターでは、10月に開催された老人福祉施設作品展に東山動物園に関する作品を出展し、大変好評をいただきました。

1月10日(金)、東山動植物園マスコットキャラクター「ズーボ」がデイサービスにやってきました。

思わぬゲストの登場に、利用されている方は大喜び。楽しいひとときを過ごしました。



◀老人福祉施設作品展
出展作品

第3次地域福祉活動計画 策定作業進行中!!

本会では、福祉のまちづくりを進めるために、平成26年度から30年度の5年間を実施期間とした「千種区社会福祉協議会第3次地域福祉活動計画」の策定を進めています。

議論のテーマとなる4つの柱をもとに、昨年8月からはグループに分かれて議論を行い、12月に各グループの議論内容を発表していただきました。5月の完成を目指し、今後は最終的なまとめを行います。



4つの柱 (議論のテーマ)

1. 住民主体のネットワークづくり
2. 担い手(人材)の確保・育成
3. 広報・啓発活動
4. 関係機関、団体との連携・協働



Q. 千種区には西崎町(在宅サービスセンター内)と星が丘に1箇所ずつ、さらに宮根台には分室がある高齢者の身近な相談窓口の名前は?
介護予防を支援したり認知症サポーター養成講座など様々な事業を行っています。

①いきいき支援センター ②ほほえみ支援センター ③ほがらか支援センター

【応募方法】 ハガキにクイズの答えと広報紙「はなみずきのまちだより」の感想をお書きください。
住所・氏名・電話番号・年齢を明記のうえ千種区社会福祉協議会「社協クイズ」係まで。
締切は3月28日(金)とさせていただきます。

☆正解者の中から抽選で10名に記念品をプレゼントします。



社会福祉法人 **名古屋市千種区社会福祉協議会** (千種区在宅サービスセンター内)

〒464-0825/名古屋市千種区西崎町二丁目4番地の1

●お問い合わせ先 電話番号が増え、今までよりご利用に応じお電話いただけることになりました。

TEL 【代表】 052-763-1531
【ボランティアセンター】 052-763-1536
【千種区西部いきいき支援センター】 052-763-1530
【認知症コールセンター】 052-763-1332
【認知症相談支援センター】 052-763-1552
【千種区介護保険事業所】 052-763-7842
【デイサービス】 052-763-1331

FAX 052-763-1547

ホームページ



<http://www.chikusa-shakyo.jp>

